

# 平成28年度 第5回 アーバンデザインスクール 実績報告

平成29年3月11日  
草津市総合政策部草津未来研究所  
アーバンデザインセンターびわこ・くさつ

## 1. アーバンデザインスクールの目的

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）は市民・大学・企業・行政のそれぞれの立場の人々が気軽に立ち寄り、草津市の未来について自由に語り合う場として開設した。アーバンデザインスクールでは、アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）の企画や運営に積極的に関わり、専門家と市民の間のより円滑な意見交流をサポートする、媒介の機能を担う専門家の育成を目的とする。

## 2. アーバンデザインスクール内容等

初年度ということから、「アーバンデザインスクールを知る」をテーマに5回シリーズで実施する。全5回のコーディネーターは肥塚浩氏（立命館大学経営学部教授）。

各回スケジュールは以下のとおり。

機能	日時	内容
第1回	平成28年11月12日(土曜)	テーマ：「アーバンデザインセンターとは？」 講師：信時正人氏 （立命館大学デザイン科学研究センター客員研究員）
第2回	平成28年12月10日(土曜)	テーマ：「松山アーバンデザインセンターの運営」 講師：松本啓治氏 （愛媛大学防災情報研究センターアーバンデザイン研究部門教授）
第3回	平成29年1月14日(土曜)	テーマ：「UDCBKの検討経緯について」 講師：溝内辰夫 （UDCBKシニアディレクター）
第4回	平成29年2月18日(土曜)	テーマ：「南草津駅の商業集積について（仮）」 講師：大橋康男 （草津市都市計画部まちなか再生課参事）
第5回	平成29年3月11日(土曜)	テーマ：「これからのUDCBKについて」 講師：及川清昭 （UDCBKセンター長・立命館大学工学部教授）

いずれも会場は市民交流プラザ中会議室で行う。

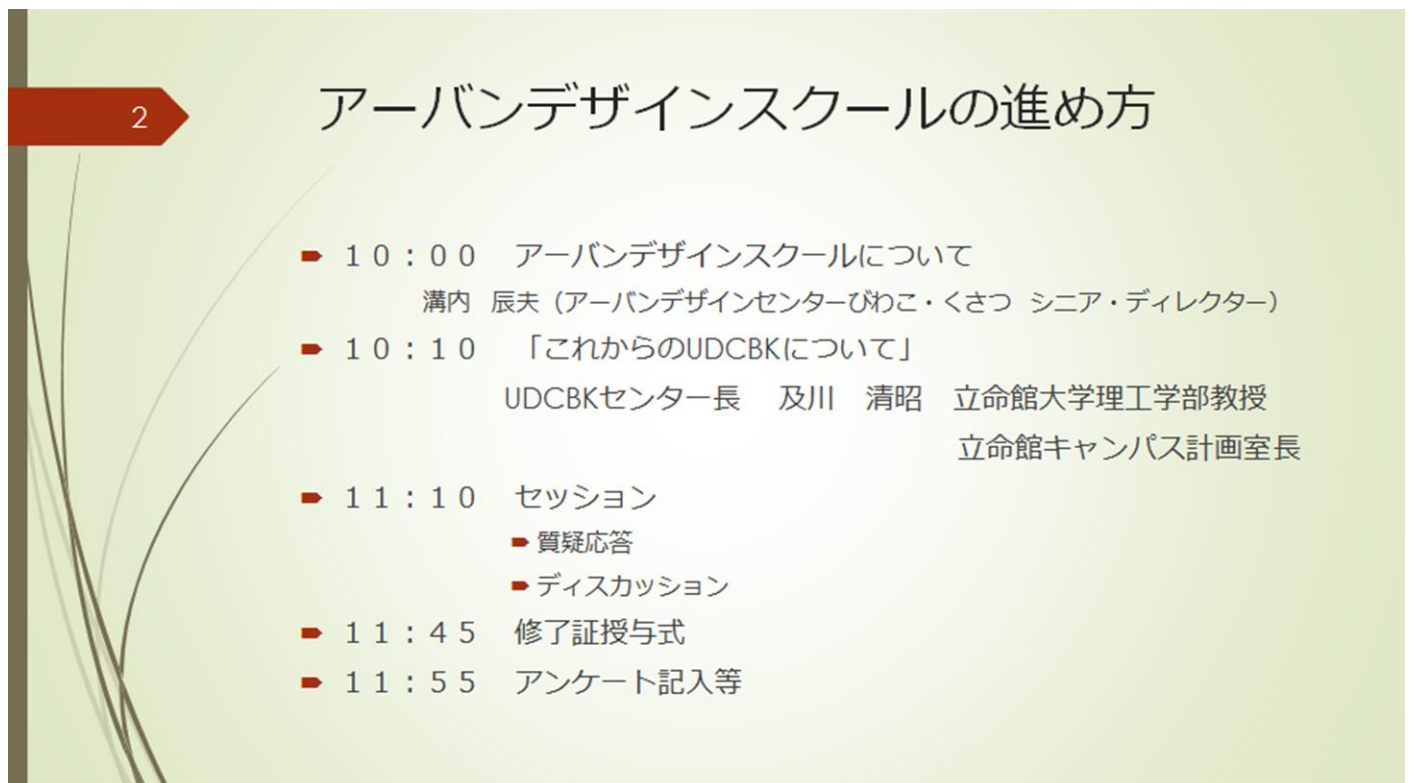
時間は午前10時から正午まで。

### 3. 第5回 アーバンデザインスクール概要

#### (1) テーマ・目的等

- ① テーマ：「これからのUDCBKについて」
- ② 内容：多様な意見や活動を踏まえたアーバンデザインとして纏めていくための専門家の役割や手法について。
- ③ 開催日：平成29年3月11日（土曜）午前10時から正午まで
- ④ 開催場所：市民交流プラザ 中会議室（フェリエ南草津5階）
- ⑤ 講師：及川 清昭  
（アーバンデザインセンターびわこ・くさつ センター長  
立命館大学理工学部教授 立命館キャンパス計画室長）
- ⑥ コーディネーター：肥塚 浩氏  
（立命館大学経営学部教授）

#### (2) 当日のスケジュール



2

## アーバンデザインスクールの進め方

- ▶ 10:00 アーバンデザインスクールについて  
溝内 辰夫（アーバンデザインセンターびわこ・くさつ シニア・ディレクター）
- ▶ 10:10 「これからのUDCBKについて」  
UDCBKセンター長 及川 清昭 立命館大学理工学部教授  
立命館キャンパス計画室長
- ▶ 11:10 セッション
  - ▶ 質疑応答
  - ▶ ディスカッション
- ▶ 11:45 修了証授与式
- ▶ 11:55 アンケート記入等

#### 4. 第5回アーバンデザインスクールの内容について

- (1) 及川 清昭 (UDCBK センター長・立命館大学理工学部教授) による話題提供  
テーマ:「これからのUDCBKについて」(約60分間)

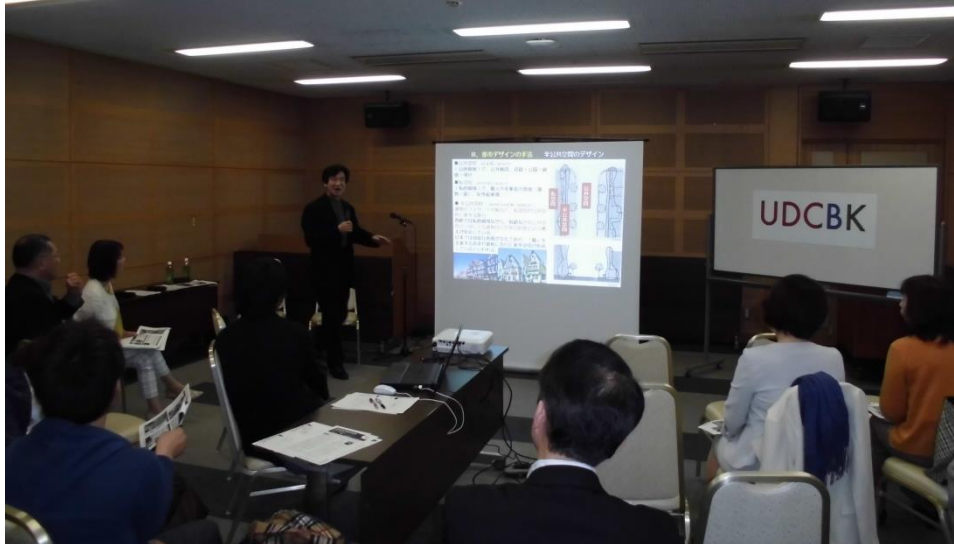


写真 1.話題提供のようす

##### まちづくりの主体の変遷

市民のまちづくりを行政がバックアップ

今あるまちづくりを次の世代へつなげていくことが私たちの役割

産学公民の4つの主体を意識して実行していくことが重要

都市空間は「劇場」

##### 都市デザインの変化

古くはローマ時代、ナポレオン三世下のパリ、19世紀末のウィーンなど絶対的権力者によるトップダウンからの都市デザインから、行政主導・専門家主導の都市デザインに市民の意見を聞くパブリック・インボルブメント、そして現在は市民主導で行政が支援するUDCのような流れになっている。また都市全体を開発する大規模なものから、集合住宅などの開発、そして今や修復的な規模に変わりつつあることを豊富な事例により紹介があった。

##### 都市デザインの具体的な手法

従来、都市はパブリック空間とプライベート空間を明確にわけていたが、現在はパブリック空間でもプライベート空間でもないセミ・プライベート空間という概念が重要となっている。その事例として、国内外のポケットパークや雁木などの事例が紹介された。

## まとめ

UDC は、世界でも最先端な試みでもあり、実際にトランジットモールやポケットパークなどの社会実験を行うなど南草津エリアのタウン・マネジメントを行うことを目指したい。

## (2) セッション



写真2. ディスカッションのようす

参加者のみなさんとのディスカッション、質疑応答を行いました。(約 25 分間)

- コンパクトシティについて質問があり、コンパクトシティは一極集中ではなく、適切な規模での集約化であり、集約拠点同士がネットワーク（交通）で結ばれるイメージである。
- 雁木（がんぎ）などを実現するためには、ステークホルダーの対話を積み重ね、合意を得ていくしかない。
- 観光と生活の両立についてどうすればいいかは重要な課題であり、やはり対話を重ねていくしかない。

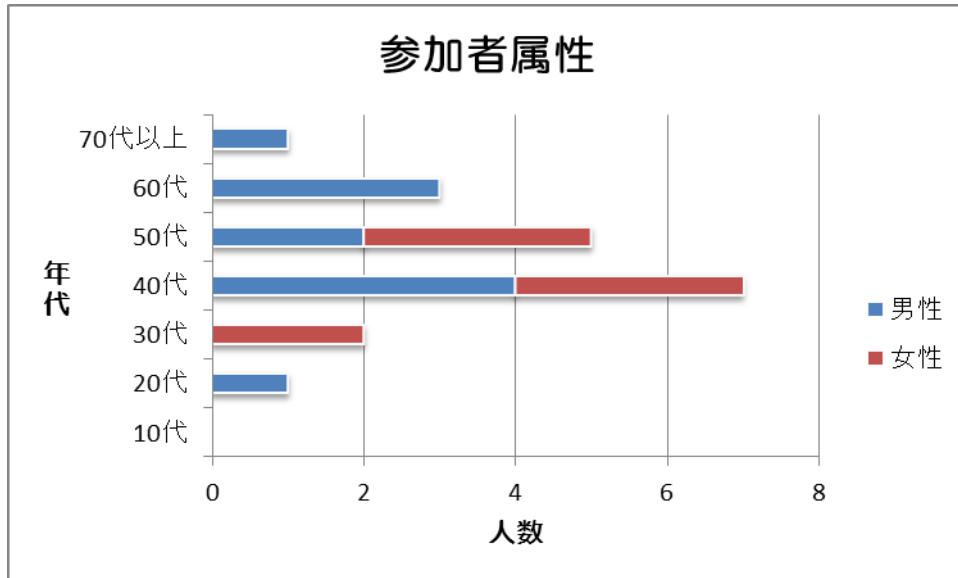
## (3) 修了証書授与式

今年度のアーバンデザインスクール5回のうち、3回以上出席した方々に修了証を授与した。及川センター長から、UDCBK の企画等を提案していただきたいとの言葉があった。

## 5. 第5回 アーバンデザインセンターとしてのまとめ

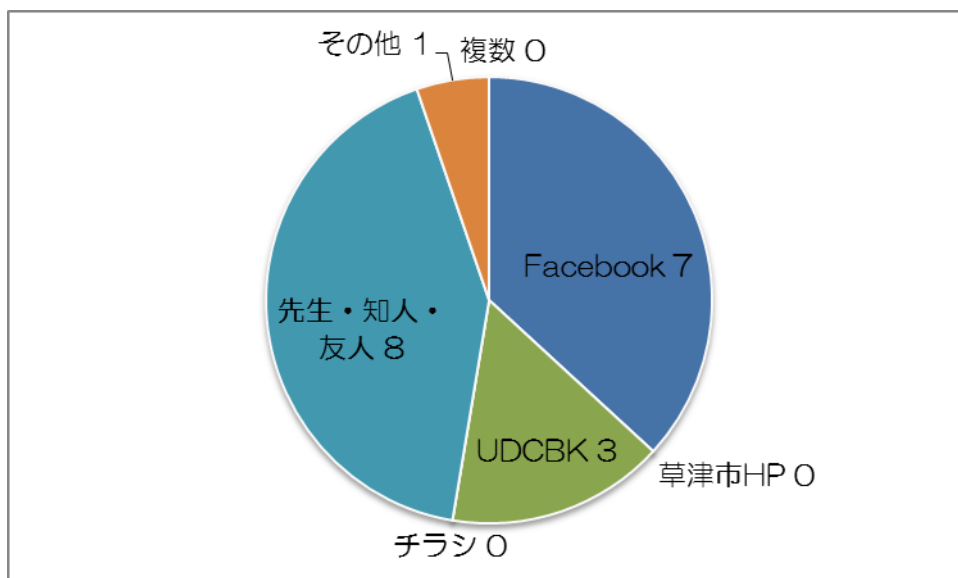
### ▶ アンケート集計結果

参加者数 19 名に対して、アンケート回収数は 13 件でした。回答率は 68%でした。



今回は、今年度のアーバンデザインスクールに3回以上出席された方の参加が多い反面、新しく数名の方が参加されました。全回を通して、40代～50代の参加者が多く、女性や学生の参加者が少ない結果となりました。

Q.アーバンデザインスクールをどこで（何で）知りましたか？



知人等からの紹介で参加された方が多く、UDCBKでのイベントの参加者に広がりが出つつあります。

➤ セミナー参加者の主な意見

- 今回も大変面白くとても参考になりました。これからのUDCBKでやれることが一層ワクワクしました。これからも期待しています！
- 具体的な計画もやれるものか？交通インフラに関しての考え方について何とか議論できないものか？
- 市民の活動でできること、条例の変更ができないこと、地権者にも関係すること、そのあたりを整理した話も聞きたくなりました。
- 大変興味深いお話をありがとうございました。
- 多くの市民の方々の参加をよろしくお願いします。
- 来期からの企画、提案できるよう考えていきたいと思えます。
- 草津の息吹を感じることができました！

➤ UDCBK としての成果

UDCBKの最終目標である「いろいろな未来のイメージ（選択肢）を展示」の具体的なイメージが示され、来年度以降の活動のイメージが共有されました。

➤ 今後の課題

UDCBKが目指す具体的なイメージが共有されたことを踏まえ、早急に具体的なプログラムを開発する必要があると考えます。